



# 武蔵野東学園 連合後援会だより



みなさんこんにちは！連合後援会だよりです。  
今年の関東は例年になく花粉の飛散量で、卒業前に涙が止まらない方も多いのではないのでしょうか？  
さて、今回は年度末恒例(?)の「卒業・卒園」特集です。生徒さんですが、卒業しても我々保護者のつながりは変わりません！何かあれば声をかけてください！（編集委員K）

## 卒園卒業おめでとう！

### 幼稚園

入園式後、休園から始まった3年間でした。姉の時とは行事も幼稚園や保護者同士の関わりもまったく変わってしまい、入園する息子とともに新たな気持ちでスタートしました。外では場所見知り人見知りの息子が、幼稚園で楽しく過ごせるだろうかと心配もどこへやら、「行きたくない」の言葉は一度も聞かず、「行きます」もそこそこに幼稚園に駆け込んでいく毎日でした。年長では運動会、園まつり、発表会等様々なイベントをクラスの先生やお友達と楽しく・根気強くチャレンジしてきました。息子の気持ちを都度温かく受け止め、導いて下さった先生方のおかげでたくましく成長することができました。

私自身も先生方や保護者の皆様とともに、微力ながら後援会活動に参加させて頂けたことに感謝申し上げます。3年間本当にありがとうございました。

(保護者S)

### 小学校

「もう卒業なんだ、、」娘は中学校への進学はとて楽しみで期待に胸膨らませているのですが、卒業する事はやはり寂しいようです。娘は武蔵野東小学校が大好きでした。先生も児童も行事や様々な事に全力投球。人の良いところに着目し、多様性を認め合う風土が本当に素敵な学校でした。小学校6年間のうち最後の3年間はコロナと共に歩んだ3年間でしたが、未曾有の事態にもかかわらず、先生方は「コロナ禍でも学びを止めない！」と子供達の為にオンライン授業や感染対策を施して行事を開催して下さいました。逆境にも負けず創意工夫していく姿は子供達の目に焼き付き、将来の糧となった事と思います。

又、後援会活動においても先生方をはじめ保護者の皆様の温かいご厚意に深く感謝申し上げます。東学園の益々のご発展を祈念し、皆様方のこれからの道が実り多き事を心よりお祈り申し上げます。(保護者T)

### 中学校

兄の小学校入学から12年、今回の卒業式は我が家にとって大きな節目になります。東中での思い出はたくさんありますが、なかでも印象深いのは12月の生命科の発表でした。小学生から存じ上げている幼かった子たちが、堂々と、且つ、死生観という重いテーマについて、それぞれの想いをしっかりと語っていました。一人一人の成長を感じるとともに、深い学びを理想とする教育が、中学校を通して実践されていることに感銘を受けました。これまで見守って頂いた優しい先生方や東っ子に囲まれて3年間を過ごしてきた人の中には、東中を離れ別々の高校生活を送ることに不安をもつ方もいるかもしれません。ですが、個性を大切にする東学園で育ったみなさんは、相手の立場になって考えることができる人です。自信を胸に大きく羽ばたいてください。(保護者K)

### 高等専修学校

長年親しんだ詰襟の学生服を卒業し、初めてネクタイとブレザーで臨んだ入学式。そして自宅学習の日々を余儀なくされ、ようやく通学できるようになった頃にはもうブレザーの必要のない季節になっていました。

イメージしていた高専での学校生活とはだいぶ異なるおっかなびっくりの毎日の中、それでも先生方は「東学園らしさ」をどうにか発信しようと懸命な努力を続けて下さいました。

そのおかげで今年度はスポーツ大会や北海道学習、そしてステージショーに合唱コンクールを経験し、パディとも深い友情を結び、息子たちもようやく高専の生徒らしい瑞々しい青春を送ることができました。

この3年間は「東学園で何を学び、受け取るか」をじっくり考える時間になりました。制約のある生活だからこそ、その究極を体験できたのかもしれませんが。(保護者T)

# 発表会

前日は雪でしたが、本番は暖かな日差しに恵まれて無事にスタートしました。発表会の日を指折り数えて楽しみにしていた息子ですが、当日は無口になっていました。今回の発表会での新しい試みである、自分で6つのカラーの中からダンスを選ぶということにより「ぼくたちのステージ」を強く意識し、これまでみんなで練習してきた舞台を失敗させたくないという責任感で緊張していたようです。力いっぱい表現し最後には降りてくる緞帳を見つめて安心したようなほっとした表情をしていました。

園での練習を通して他のお友達のダンスがどれだけ格好良かったのか、ハーモニカがどれだけすばりしかったのか、他を認め自分のことも好きになるそんな気持ちが生まれていました。お力添え頂いた幼稚園の先生、スタッフの皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。(年長 保護者S)



幼稚園からお世話になり、発表会は今年で7年目。年少の時は「こんな大きなステージで本当にできるのだろうか」と心配で、手に汗握りながら祈るような気持ちで客席から観ていたことを今でも良く覚えています。

幼かった息子も成長し、あの頃からは想像もつかないほど今年の発表会も楽しそうで、たくさんのライトに照らされた息子の顔は自信に満ち溢れ、大好きな仲間と一緒に頑張れた喜びと、やり切った達成感がひしひしと伝わってきました。

少しずつ親の手から離れて自立に向かっていく姿に、嬉しくもあり寂しさも感じておりますが、我が子と共に成長できることを誇りに、子どもの自ら育つ力を信じて、これからも寄り添い、見守っていきたいと思います。(4年 保護者T)

命の尊さ、平和への願いをどのように表現するのか、緞帳の向こうにどんな世界が広がっているのだろうと胸を弾ませておりました。

いよいよ幕が開き、カラフルな衣装や旗を持つ子の堂々とした姿に涙が溢れました。一糸乱れぬ動き、一人一人が主役であることに目を奪われていた時、娘も真剣な眼差しで「一緒に踊ってみたいと」とつぶやきました。

武道は「心・技・体」たくましくなったなあと目頭が熱くなりました。Art&Peaceはテーマ毎の衣装も素敵で、動きも繊細なものからダイナミックなものがありテーマに沿ったストーリー性のある動きに心を打たれ、相互に個性を尊重し合い認め合える姿にインクルーシブ教育の素晴らしさを実感し歓喜で涙が止まりませんでした。ここまで温かく丁寧に御指導頂いた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。(中1年 保護者M)



## おひろも会

### 縦割り親睦会

毎年1月に開催されていたむらさき新年会がコロナ禍で中止となり、今年「縦割り親睦会」として新しい形で開催されました。今から13年前息子が幼稚園に入園し、初めて参加した新年会では先生方や保護者の方々とひとつのテーブルを囲み、子育ての悩みや情報交換など様々なお話を伺う機会となりました。初めは緊張していましたが保護者同士の交流を通して会を終える頃には、一人じゃない、仲間がいると心強く感じたことを憶えています。幼かった息子も高等専修の2年生となり、学校生活を先生方や仲間達に支えられて、充実した日々を過ごしています。新しい形での親睦会は沢山の笑顔と和やかな雰囲気の中、各園校の保護者の方々と交流を深めることができ、東学園ならではの縦の繋がりの素晴らしさを感じることができました。(高2 保護者T)

### 編集後記

いかがでしたでしょうか？発表会は本学園の特徴である混合教育の素晴らしさの実態を発信する場ですね。ご卒業ご卒業される皆さまには心よりお祝い申し上げます。進む先が違えど、本学園で身に付いた知識と精神を世に広げて行くことを期待します。一年間ご愛読いただき編集スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。(編集委員N)

#### ●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	津久井真弓	松井光子
中学校	伊藤園子	牧野素子
小学校	宇野瑠衣	岡部曜子
幼稚園	折笠るり	中村美世
高等専修	辻孝平	
中学校	倉田諭	脇裕司 内藤忠男
小学校	小辻修平	

